

氏名	井上和久	部署	理学療法学科	職名	准教授
研究分野	運動器・生活環境支援（地域・予防・支援工学）理学療法				
学位	学士（社会学）、博士(医学)				
学歴	1995年高知リハビリテーション学院理学療法学科・佛教大学社会学部社会福祉学科卒業、2013年東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科リハビリテーション医学（博士課程）修了				
経歴	1995年田無病院、1999年埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、2006年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2014年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会（役職）	（公社）日本理学療法士協会（代議員）、（公社）埼玉県理学療法士会（表彰委員会委員長）、臨床歩行分析研究会、理学療法科学学会、日本義肢装具学会、日本地域理学療法学会（副理事長、専門会員A）、日本予防理学療法学会（評議員、専門会員A）、日本支援工学理学療法学会（専門会員A）、日本理学療法学会連合（財務委員長）				

【2024年度実績】									
1. 研究業績									
(1) 著作(著書及びその他の著作物)									
	著作の名称		単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名		発行等年月
1	義肢装具学テキスト 改訂第4版		共著	あり	南江堂、全471		編集：磯崎弘司・両角昌実・横山茂樹、井上担当頁（共著：原和彦）：255-269		2025.3
(2) 論文									
	論文の名称		単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ		著者、編者名	発表等年月
1	該当なし								
(3) 学会発表									
	学会発表の演題		単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）		発表等年月	
1	体組成計の機種別測定差について－第2報－		共同	第11回日本予防理学療法学会学術大会、宮城県柴田郡柴田町		○井上和久，小野塚雄一		2024.11	
2	ソーシャルネットワーキングサービスにおける多職種連携について		共同	第32回埼玉県理学療法学会、埼玉県さいたま市		○吉田圭佑，水落妙子，金子和恵，北村あけみ，狩野契，鋤柄稔，井上和久		2025.1	
(4) その他									
	名称		単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）		発表等年月	
1	該当なし								
2. 競争的資金等の研究									
	競争的資金等の名称		研究名			研究代表者・研究分担者の別		研究期間	
1	該当なし								
3. 教育業績									
(1) 講義									
	講義の名称		科目責任者	コマ数		概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	理学療法症候障害論（博士後期課程）			2		主に授業は、Webによるプレゼンテーション講義「運動器障害(下肢)におけるバランス機能と介入効果」を実施した。			
2	日常生活活動分析学		○	8		主に授業は、パワーポイントを使用した講義を実施し、体験学習（車椅子乗車・介助）も実施した。			
3	生活環境支援理学療法学		○	7		主に授業は、生活環境における講義をプレゼンテーションし、学生が実習で担当した事例を元に生活環境支援について志向した。また、簡易型SHBについて作製を行った。			

4	リハビリテーション看護		1	看護学科の授業：リハビリテーション看護「運動機能障害に対する基本的動作の回復・維持を目指した理学療法士によるリハビリの実際」担当。主に授業は、パワーポイント使用した講義を実施し、理学療法の概要・車椅子・装具等の現物を元に講義を行った。また、トランスファー（介助方法）についても一部実技を実施した。
5	看護学概論		1	健康開発学科の授業：看護学概論「障害に応じた装具の使用と移動能力の改善」担当。主に授業は、パワーポイント使用した講義を実施し、車椅子・装具・杖等の現物を元に講義を行った。
6	義肢装具学		4	主に授業は装具について講義し、パワーポイント使用した講義を実施した。
7	理学療法セミナーⅠ（OSCE1）		3	SP（高齢者）を利用し、課題をもとに6名の学生評価を行い、フィードバックを行った。
8	理学療法セミナーⅡ（OSCE2）		3	SP（理学療法士）を利用し、課題をもとに8名の学生評価を行い、フィードバックを行った。
9	リハビリテーション教育学Ⅱ（博士前期・後期課程）		1	「OSCEの課題作成」における授業資料をPPTで作成し、WebClass上に資料をアップし講義等を実施した。
（2）演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	理学療法症候障害演習（博士後期課程）		3	主に授業は、Webによる演習「装具の運動学的・運動力学的研究法」を実施した。
（3）実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	臨床教育実習Ⅰ		2025.2.17～2025.3.1	学外での臨床教育学習を通じて、理学療法の基本的検査・測定手技および介助、治療の見学と体験について確認・指導した。また、実習終了後報告会を実施した。
2	臨床教育実習Ⅱ		2024.9.25～2024.10.28	学外での臨床教育学習を通じて、理学療法の基本的検査・測定手技をクリニカルクラークシップ型学指導に基づいて、見学と実践について確認・指導した。学生に対しては、学習方法の指導や実習中の悩みや解決方法などの対応を行った。また、実習終了後報告会を実施しフィードバックを行った。
3	臨床教育実習Ⅲ		2024.4.15～2024.6.8	学外での臨床教育学習を通じて、クリニカルクラークシップ型学指導に基づいて、理学療法全般（評価と治療）について一連の過程を実践の場で学習した内容について確認・指導した。学生に対しては、学習方法の指導や実習中の悩みや解決方法などの対応を行った。また、実習終了後報告会を実施しフィードバックを行った。さらに、担当学年として実習前後のリエンテーション及び手続等の準備を実施した。
4	臨床教育実習Ⅳ		2024.6.24～2024.7.27	学外での臨床教育学習を通じて、クリニカルクラークシップ型学指導に基づいて、理学療法全般（評価と治療）および医療的リハビリテーションから地域リハビリテーション領域への一連の流れにおける理学療法の実践課程について確認・指導した。学生に対しては、学習方法の指導や実習中の悩みや解決方法などの対応を行った。また、実習終了後報告会を実施しフィードバックを行った。さらに、担当学年として実習前後のリエンテーション及び手続等の準備を実施した。
5	IPW実習		2024.4～2024.10	IPW科目責任者会の副主任科目責任者および教員・施設担当リーダーとして科目の準備・運営を実施した。また、地域担当教員（東部①）として、3施設5チームを担当し、報告会等の準備・運営を実施した。

6	義肢装具学実習		24	授業において、実習形式で行い、義足・装具について、模擬義足体験や簡易型SHB作成などを実施した。また、切断者（4名）モデルの方に来ていただき、断端評価や義足評価を8グループに分かれ実施した。	
7	日常生活活動指導実習	○	24	PCによるプレゼンテーション講義と6グループに分かれ疾患別の日常生活指導の実技を実施した)。また、介護福祉機器展示場に同行し、介護福祉機器の説明を実施した。	
8	義肢・装具学実習		2	作業療法学科の授業：義肢・装具学実習「体幹・下肢装具について」担当。主に授業は、パワーポイント使用した授業を実施した。	
(4) 論文指導					
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	修士論文		2024.4～2025.3	主指導（指導教員）0名	副指導（指導補助教員）2名
2	博士論文		2024.4～2025.3	主指導（指導教員）0名	副指導（指導補助教員）1名
(5) その他					
	名称		期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	担当ゼミの打ち合わせ		2024.4～2025.3	1年生4名、2年生4名、計8名の担当ゼミ生について打ち合わせを行った（年数回）。	
2	水戸メディカルカレッジ：装具学・義肢学講義		2024.4～2024.12	装具学・義肢学の講義（対面）について実施した（30コマ）。	
3	埼玉県立大学大学院修士論文審査会		2025.2～2025.3	修士論文：2名（1名主査、1名副査）	
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称		主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	埼玉未来大学（北部）		埼玉未来大学	心をつなぐコミュニケーション	2024.5
2	埼玉未来大学（北部）		埼玉未来大学	楽しく体力アップ	2024.5
3	埼玉未来大学（南部）		埼玉未来大学	楽しく体力アップ	2024.5
4	埼玉県立大学2024年度履修証明プログラム「専門職連携を学ぶ講座」		埼玉県立大学	チームビルディング研修	2024.5
5	埼玉県立大学 オープンカレッジ講座		埼玉県立大学	健康のために取り組む生活習慣病の対策	2024.5
6	春日部市民講座		埼玉県立大学・春日部市教育委員会	知っておきたい学童期の姿勢のお話	2024.6
7	埼玉県立大学 オープンカレッジ講座		埼玉県立大学	学童期の姿勢－脊柱変形の予防－	2024.6
8	2024年度埼玉県立大学理学療法学科臨床実習受け入れ施設対象講習会		埼玉県立大学	予防理学療法学 講義概要	2024.8
9	埼玉県立大学2024年度履修証明プログラム「専門職連携を学ぶ講座」		埼玉県立大学	多職種チームによる実践事例研修（3日間）	2024.9 2024.10 2024.11
10	埼玉県立大学 高校出張講座（埼玉県立松山高等学校）		埼玉県立大学	生活習慣病における予防・治療について	2024.10
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等					
	国、自治体、学術団体等の名称			委員等の名称	任期
1	(公社) 日本理学療法士協会			代議員	2020.6～現在
2	(公社) 日本理学療法士協会			議事運営委員	2020.6～現在
3	(一社) 日本地域理学療法学会			理事（副理事長）	2021.6～現在
4	(一社) 日本理学療法学会連合			研究安全・学術倫理委員会 委員	2021.6～2024.6
5	(一社) 日本理学療法学会連合			研究安全・学術倫理委員会倫理審査部会 審査員	2021.6～2024.6
6	(一社) 日本理学療法学会連合			財務委員会：委員長	2021.6～現在
7	(一社) 日本予防理学療法学会			評議員	2021.8～2025.6
8	(一社) 日本予防理学療法学会			編集委員	2021.9～現在
9	補装具支援のあり方研究会			世話人	2022.4～現在
10	専門リハビリテーション研究会			運営審議員	2022.4～現在

11	(公社) 埼玉県理学療法士会	表彰委員会：委員長	2023.7～2025.6
12	(公社) 埼玉県理学療法士会	若手会員：研究活動支援（研究ゼミ事業）	2023.11～2025.6
13	(一社) 日本予防理学療法学会	日本予防理学療法学会雑誌：投稿論文査読（2編）	2024.4～2025.3
14	埼玉県総合リハビリテーションセンター	講師（入院患者及び外来患者に対する理学療法訓練の指導・助言等）	2024.4～2025.3
15	日本保健医療福祉連携教育学会	日本保健医療福祉連携教育学会第17回学術集会：広報担当	2024.4～2025.3
16	(一社) 日本予防理学療法学会	第11回日本予防理学療法学会学術大会：演題査読	2024.6
17	(一社) 日本地域理学療法学会	第11回日本地域理学療法学会学術大会：演題査読	2024.7
18	(一社) 日本支援工学理学療法学会	第13回日本支援工学理学療法学会学術大会：演題査読	2024.8
19	(公社) 埼玉県理学療法士会	第32回埼玉県理学療法学会：演題査読	2024.10
20	(一社) 日本予防理学療法学会	第11回日本予防理学療法学会学術大会：座長(口述)	2024.11
21	(一社) 日本地域理学療法学会	第11回日本地域理学療法学会学術大会：司会（教育講演）	2024.11
22	(公社) 埼玉県理学療法士会	第32回埼玉県理学療法学会：座長(口述)	2025.1
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称		年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	期間
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	教務委員会	2024.4～2025.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	専門職連携教育研修センター（①学内IPEチーム・リーダー＋IPEセンターフォーラム、③コンソチーム、⑤現職者IPEチーム、⑥saipeチーム、⑦IPE普及発展チーム）	2024.4～2025.3
3	全学的委員会及びセンター業務等	IPW実習科目責任者会：副主任科目責任者および教員・施設担当リーダー	2024.4～2025.3
4	全学的委員会及びセンター業務等	IPE科目担当者会・会長	2024.4～2025.3
5	全学的委員会及びセンター業務等	4大学間連携運営連絡会	2024.4～2025.3
6	全学的委員会及びセンター業務等	入試（推薦・共通・前期）	2024.4～2025.3
7	学科等における委員会等	専門基盤・PT・OT情報交換会	2024.4～2025.3
8	学科等における委員会等	学科長補佐	2024.4～2025.3
9	学科等における委員会等	学科会議・業務会議	2024.4～2025.3
10	学科等における委員会等	学科会議：司会	2024.4～2025.3
11	学科等における委員会等	4年生担任	2024.4～2025.3
12	学科等における委員会等	予算執行帳簿管理・監査者	2024.4～2025.3
13	学科等における委員会等	一般社団法人リハビリテーション教育評価機構：調整・書類作成・取りまとめ等	2024.4～2025.3
14	学科等における委員会等	PT・OT合同就職説明会（オンデマンド）主担当（準備・運営）	2024.4～2025.3
15	学科等における委員会等	卒業研究報告会：主担当（準備・運営）	2024.4～2024.11
16	大学広報活動	茨城県立藤代高等学校 2年生	2024.6
17	大学広報活動	オープンキャンパス2日間	2024.8
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	令和5年度埼玉県理学療法士会功労賞	(公社) 埼玉県理学療法士会	2024.6

7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		